

スクールスピリッツ school spirits

誠実・個性・信念・活動・責任・相互理解

大阪鶴橋から近鉄特急で約一時間半、松阪牛で有名な三重県松阪駅に着、JR紀勢線特急で約30分後に三瀬谷駅に到着



寮と食堂外観



昂学園高校校舎

スクールスピリッツの誠実・個性・信念・活動・責任・相互理解の頭文字をつなげると「S・U・B・A・R・U」になります。わかりますか？

しました。松阪から先はどんだん山奥に入っていました。話には聞いていきましたが、実感として、平成年に新しいイメージの学校として三瀬谷立昂学園高等学校となり



第23号
発行
県立市川昂高等学校
市川市東国分1-1-1
047-371-2841

三重県立 昂学園高等学校

京都のすばる高校に次いで、三重県立昂学園高等学校を紹介いたします。

校長 柴田 淳

という感じですが、三瀬谷駅は想像通り無人駅でした、特急が止まる無人駅というのは初めてでしたが、ここで降りたのは4〜5名だったと思います。教頭先生が迎えに来られました。なんだから本当にはるばる来たというのが実感でした。

校名の由来は本校と同じ

三瀬谷駅からは車で約20分、目的の三重県立昂学園高等学校に着きます。三重県立昂学園高校は昭和23年に三瀬谷立宮川高等学校萩原分校とし、農業の専門高校としてスタート、その後昭和62年に普通科と土木科の課程を持つ三瀬谷立萩原高等学校となり。過疎化が激しく、存続の意味もあつて、平成7年に新しいイメージの学校として三瀬谷立昂学園高等学校となり

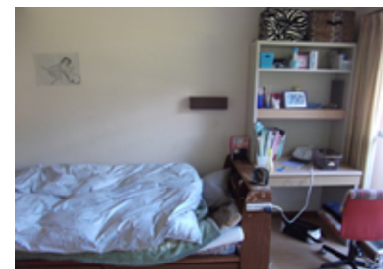
全寮制の高等学校

異性の寮に入れば、「特別指導」



女子寮の風景

寮名は「きらら寮」で1・2年生は2人部屋、3年生は一人部屋、定員は女子150人男子90人と、



使用中の部屋

女子の定員が多くなっています。当日は一番興味のあつた、寮を中心に見学させていただきました。

二人部屋は6畳程度で、ベッド、机と洋服ダンスで、見せて頂いたのは比較的きれいでしたが、使っている部屋はちよつと見せられないとのこと。想像してしまいました。男女の寮棟の真ん中に共用棟があり、食堂やゲストハウスがあります。「夜に寮を脱走する生徒は居ませんか？」の質問に対して「周りには何もありませんので車がなければどこにも行けません」とのお答え、確かに！と思いました。

ました。校名の由来は本校と同じプレアデス星団の6つの星が一つ一つ美しく輝きながら仲良くまとまっている様子から取りました。現在は、総合学科（国際交流、美術工芸、環境技術、介護福祉、総合スポーツの各系列）で一年80名全寮制の学校です。昂高校も韓国の高校「私立養生高校」との交流、韓国への修学旅行など国際交流が盛んです。韓国からの交換学生は寮の空き室に泊まり、日本

での生活を味わうことになり。寮で生活しながら近くの奥伊勢湖でのボート体験、近隣の山々へハイキングなど自然を満喫することが出来ます。「明日は、体験入学の日です。進学してくる子は必ず学校見学に来ます。三重県全県からいるいるな子が来ます」とのこと。こつこつとした環境で3年間送ると深い友情で結ばれると思います。また、夕方から夜の自由時間は勉強や本を読んだりじっくり自分の時間が使える

- Sincerety 誠実
- Uniqueness 個性
- belief 信頼
- activity 活動
- responsibility 責任
- Understanding 相互理解